

【2017年とりまとめ】(H29.5) 「これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画(市町村計画)のあり方」

・国土利用計画(市町村計画)を「国土・土地利用に関する市町村のマスタープラン」として活用し、**市町村レベルで地域構造の転換を図っていくことを提言**

【2018年とりまとめ】(H30.6) 「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」

・持続可能な国土管理のあり方について**実際に市町村・地区レベルで検討するに当たり、各地域が共通して直面することが多い課題と解決の方向性について**、第2次国土形成計画や第5次国土利用計画(全国計画)に位置づけられた**「複合的な効果をもたらす施策」や「選択的な国土利用」という視点も踏まえ**つつ、地域における取組事例から得られた教訓を中心に**分類・整理**

【2019年とりまとめ】(R元.5) 「将来的に放置されていくことが予想される土地の管理のあり方」

・**実際に2018年とりまとめで示した解決の方向性に沿って土地の使い方を検討したとしても、放置以外の選択肢をとることが困難な土地が数多く存在する地域において**、土地の放置により発生する悪影響が無視できるレベルに小さい場合には、**必要最小限の管理も選択肢の一つとして土地の管理のあり方を検討していく必要性を提言**

持続可能な国土利用・管理に向けたステップ

ステップ ①：自分たちの暮らす地域について改めて考える

「土地」の視点

課題：土地の現状の把握・共有等

土地の活用可能性等の把握

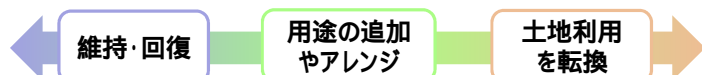
実態の共有と「見える化」

土地や担い手の現状及び将来の状況の把握・共有

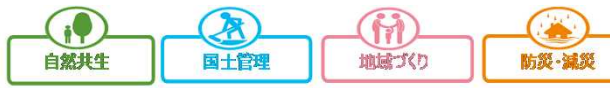
ステップ ②：土地の使い方を考える

「土地」の視点

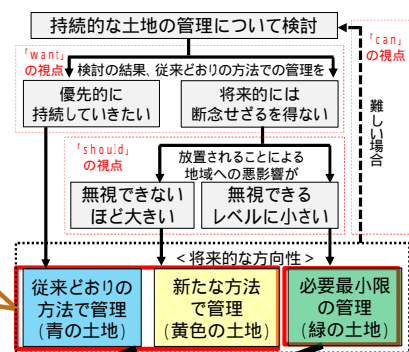
課題：地域に適した土地の使い方の選択



課題：様々な視点からの効果を意識した土地の使い方の選択



地域で検討を行うためのフロー図



ステップ ③：実現に向けた具体的なアクションを実行する

「人(主体)」の視点

課題：人(主体)の確保と維持

課題：主体間の役割分担と意識の共有

「土地」の視点

課題：土地所有者との合意

「仕組み」の視点

課題：国土の国民的経営の推進と国土管理活動の収益化

課題：公的な資源等の有効活用

ステップ③で示した課題は、ステップ①及び②の過程で生じる場合もある。

土地の放置

+

悪影響の定期的な把握等

残された課題

地域ですべきことを推進していくための課題

中心となる主体のあり方及び主体を創出・育成するための方法
低コストな管理手法の研究及び普及

広域的な視点から国、都道府県、市町村がすべきことを推進していくための課題

分野横断的な管理構想の策定
放置された土地の問題が中長期的に深刻化するおそれのある地区の問題の展望

総合的な課題

必要な制度のあり方

+ 国土利用計画等の共有・推進等による継続性の担保
+ 放置により無視できないほど大きい影響が発生する土地の図示